

## 大枝小学校の歩み



- 明治 6年 9月 伊達崎三支校開校（徳本寺内）
- 明治 7年 6月 東大枝小学校開校（伊達崎校より分区内）
- 明治 10年 2月 西大枝小学校開校（西松寺内に合併）
- 明治 20年 4月 東大枝尋常小学校
- 明治 25年 12月 大枝尋常小学校に改称
- 大正 15年 4月 大枝尋常高等小学校に 校舎改築と高等科設置（現在の地に移転）
- 昭和 16年 4月 大枝国民学校に改称
- 昭和 22年 4月 大枝村立大枝小学校に改称
- 昭和 29年 4月 国見町立大枝小学校に改称（町村合併により校名変更）
- 昭和 29年 7月 国見町梁川町大枝小中学校組合立大枝小学校（東大枝地区梁川町編入のため組合立となる）
- 昭和 36年 3月 国見町梁川町大枝小学校組合立大枝小学校（大枝中学校閉校に伴い校名変更）
- 昭和 41年 6月 校旗制定
- 昭和 48年 11月 創立 100 周年記念式典実施 記念碑建立
- 平成 3年 2月 新校舎完成
- 平成 18年 1月 伊達市誕生により伊達市国見町組合立大枝小学校に改称
- 平成 24年 3月 組合立大枝小学校閉校
- 平成 24年 4月 市立大枝小学校開校



下級生に最後のお別れを告げる卒業生たち。この日は喜・哀・楽さまざまな表情が見られた

# 大枝小で 組合立最後の式

全国でも珍しい組合立小学校の大枝小学校。国見町の小学校が一つに統合されたことから、組合立大枝小学校は3月に閉校。4月から市立大枝小学校に生まれ変わった。

市内21小学校の卒業式は、3月23日に行われ、合わせて632人が6年間の課程を修了した。全国でも珍しい組合立小学校、大枝小学校の最後の卒業式は、同校2階ホールで実施され、9人が思い出深い校舎に別れを告げた。

同校は明治6（1873）年に伊達崎三支校として開校。昭和29（1954）年に東大枝地区が梁川町に編入したことから、国見町と梁川町の共同管理による組合立小学校となった。今年の4月から国見町内の小学校が統合され、西大枝地区、川内地区（国見町）の児童が抜けることから、東大枝地区の児童だけの市立大枝小学校に生まれ変わる。

鈴木昭夫校長は「みなさんは組合立最後の卒業生として学びやを巣立つ。卒業は新たな旅立ちであり出発

である。大枝小で学んだ自信を胸に、夢に向かって挑戦し続けて欲しい」とはなむけの言葉を送った。

続いて同校体育館で閉校式が行われた。これには在校生のほかに、卒業生、歴代の校長や地域住民なども駆け付けた。

鈴木校長から学校組合管理者に校旗が返納された後、卒業生の鈴木悠さんが「閉校はとても残念。4月から西大枝と川内の友達は国見小、東大枝の友達は大枝小に分かれるが、私たちは組合立小学校と一緒に過ごした仲間として変わりはない。大枝小学校で学んだ地域のひととの絆を忘れず、自分の夢に向かって頑張っていきたい。今までありがとうございました。さようなら」と別れの言葉を述べた。最後に全員で校歌を斉唱し、組合立小学校としての58年の歴史に幕を閉じた。

その2週間後、学校には再び子どもたちの元気な歌声が響いた。4月6日に開校式と入学式が行われ、この学校はまた新入生を迎え入れた。地域の学校、新生「市立大枝小学校」の歩みが始まった。

- 1\_最後の組合議会は3月5日に開催された/2\_卒業証書を手にする9人の卒業生/3\_式後、下級生に「行かないで」と泣きつかれ照れる卒業生/4\_鈴木校長から校旗を受け取る佐藤力同組合副管理者/5\_閉校式には多くの人が参加/6\_伝統の太鼓を披露する生徒



6



5



4



3



2



1